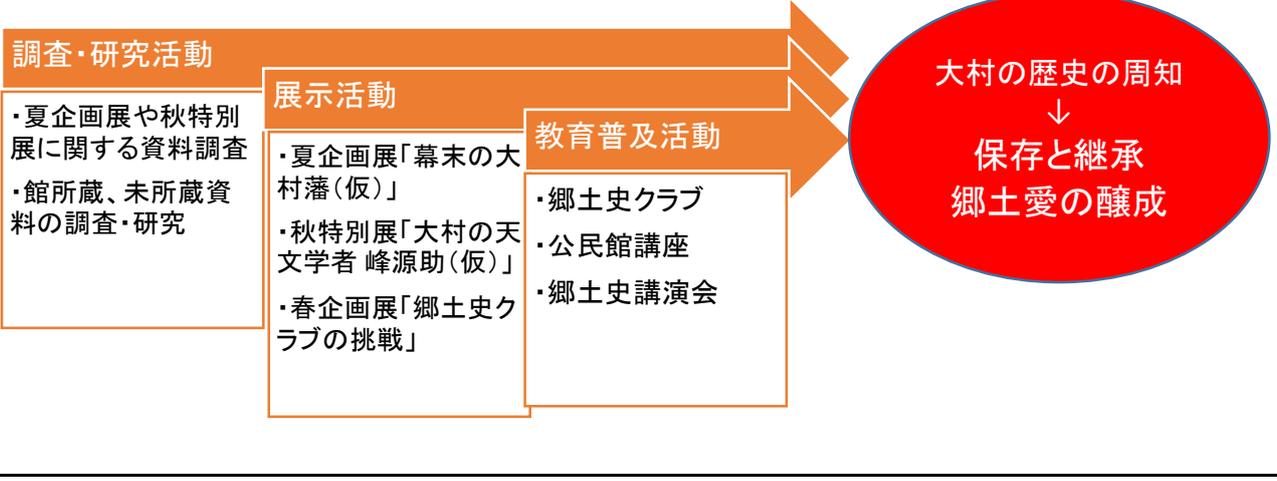
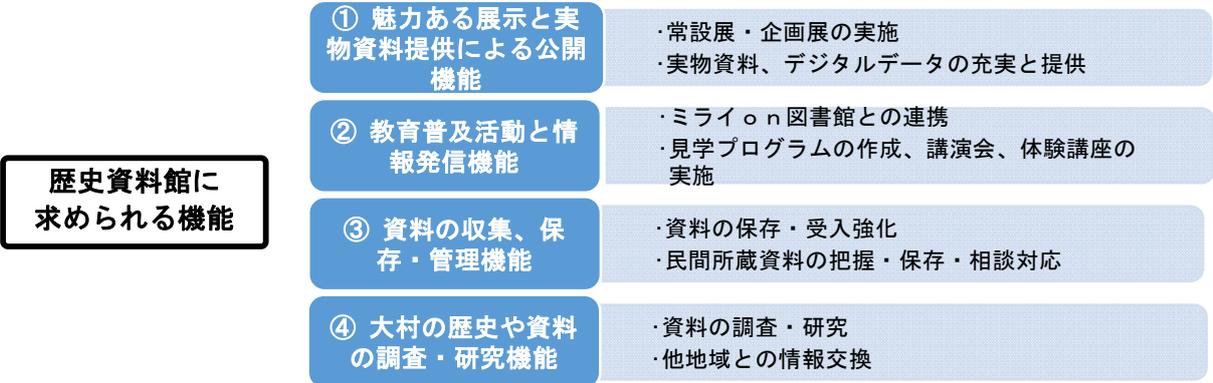


事業概要シート

施策	0301	歴史・文化の保護・活用・継承	<<>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く	
事業名	歴史資料館管理運営事業		現状維持	予算額 23,263 千円 << 21,455 >>千円
事業期間	昭和48年 ~		財源内訳	国庫支出金 450 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 683 千円 一般財源 22,130 千円
根拠法令要綱等	博物館法 大村市歴史資料館条例			

【事業の目的・概要・対象】

市民などに大村の歴史に関する歴史学習や研究の機会を提供する。
 大村の歴史に関する貴重な歴史資料を収集、保存・管理し、その重要性を市民に周知するため、さまざまな情報を発信する。
 大村の歴史の普及や研究のため、大村に関する歴史資料を寄贈、寄託、購入などの方法により体系的に収集し、これを保存・管理する。館ではこれらの歴史資料を活用し、展示や講座等の教育普及活動を通じて地域の歴史の情報発信する。



【背景】

地方創生、郷土愛の醸成が求められる中、地域の歴史の保存継承、情報発信は重要となっている。
 歴史資料館が、その拠点として機能し、市民に周知してもらうためにも、より一層の資料の保存、展示、教育普及活動の強化に取り組んでいく必要がある。特に展示活動では、来館者から新たな資料や情報を得ることが多いため、継続して実施する必要がある。

担当課	教育委員会文化振興課（歴史資料館）	課長	今村 明
担当者	山下 和秀	問合せ先	0957-48-5050

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①	開館日数	日	285	285	285	285	285
②							

【成果指標】

指標名		単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①	入館者数	人	27,719	30,000	33,000	36,000	38,000
②							

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	合計
事業費	19,961	18,602	21,455	23,263	22,813	22,813	128,907
国庫支出金		350	350	450			1,150
県支出金							0
地方債							0
その他	470	384	481	683	683	683	3,384
一般財源	19,491	17,868	20,624	22,130	22,130	22,130	124,373
人件費	21,813	17,431	18,153	18,453	18,453	18,453	112,756
職員(人)	2.62人	2.13人	2.18人	2.18人	2.18人	2.18人	13.47人
時間外勤務(h)	1380h	971h	1150h	1300h	1300h	1300h	7401h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	41,774	36,033	39,608	41,716	41,266	41,266	241,663

妥当性 (市の関与)	市の施設の維持管理であり、市が行う必要がある。
有効性 (施策貢献度)	歴史資料館は、ミライオン図書館とともに、地域学習の拠点であり、展示、教育普及活動は、文化財の保護や地域の歴史情報の発信・理解に極めて有効である。
効率性 (コスト)	年間を通じて、展示会等の情報発信に関する費用を自前で行っていることもあり、これ以上のコスト削減は困難なところである。

1次評価	歴史資料館の活動は、地域の拠点として歴史・文化の保護・活用・継承を行っており、ミライオンを中心とした地域学習に必要でもあるので、継続すべきである。
2次評価	1次評価のとおり